

保護膜のまとめ

モバイルM3は、センサー、ヒータともに電気接点が表面に出ています。絶縁体の測定ではそのまま問題ありませんが、保護膜として、出荷時に4.5ミクロン厚さのPETフィルムを上下のセンサー・マイクロヒータに貼った状態で出荷しています。Type2では、耐熱性の7.5μカプトンフィルムを使用します。

材料	効果	注意	備考
PET 4.5μ 2μ	グリース効果 電気絶縁 金属可能 保護膜として有効	若干の感度低下 汚れで交換の必要あり 破損による誤認	空気の入り込み 導体には必須 めくれの確認
PI 7.5μ	耐熱・温度可変用 交換容易 安定性あり	感度低下 やや堅く接触問題あり 高周波が使いにくい	高温では絶対 グリース貼り
なし	感度が一番高い 膜の破れなどの不注意事故がない	電気導体が測定不可 フィルターによる破損	丁寧な扱いを グリース使用

膜を使うと金属・液体等を含むすべての試料に適用可

ベースラインはかならず再取得すること

市販のラップを上下に追加で貼れば、保護効果も高くなる。交換も容易。

界面に気泡入り易いことに注意

上部電極膜の剥離に注意すること 抜け落ちていることを見落とすことが多い
場合によって、市販ラップ各種、アルミ фоль, ガラス板でも測定可能